

日本共産党区議会議員
こんにち伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
 足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
 日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

西新井小学校改築 その他工事の 契約変更について



本会議で討論する伊藤和彦区議 12月20日

前例のない契約変更で区民の税金を使って
 1億7千310万円増額する区長提案の議案に
 自民、公明、民主は賛成 共産党は反対

足立区議会本会議で伊藤和彦議員が12月20日に日本共産党足立区議団を行なった反対討論の全文を紹介し、代表して反対討論をおこ

**初のPM的方式を
 採用して2回目の契約変更
 区の立任は重大**

ただいま議題となりまして第110号議案、西新井小学校改築その他工事請負契約の変更について。第111号議案、西新井小学校改築給水排水衛生設備工事

請負契約の変更について、日本共産党足立区議団を代表して反対討論をおこ

本条例は、西新井小学校改築工事について、企画調査から発注、施工に至るまで進行管理を設計会社

に任せるプロジェクトマネージャメント・PM的手法をとったことで、チエックが適切に行なわれず、結果として杭径の変更、杭の本数の変更などきわ



写真は区立西新井小学校

く、是正できなかった根底に区が市場化の流れにのってPM的手法で、本来区の職員が行なうべき進行管理まで設計会社に任せ

てしまった問題があり、区は深く反省すべきと考えます。また、本件改築工事はダンピングによ

って落札された似鳥工務店の一次下請け企業が国税滞納で事実上倒産し、労務費未払い

が生じ、発注者である区の責任も問われます。ダンピングによる公共工事の契約がないことと、学校への対応

分でのやり直しが必要になり、工事期間の延長を行い、仮囲いや重機などのリース料や現場管理費(人件費)などが追加で必要になったために2回目の契約変更として提出された

しかし、やり直した分でのやり直しが必要になり、工事期間の延長を行い、仮囲いや重機などのリース料や現場管理費(人件費)などが追加で必要になったために2回目の契約変更として提出された

**ダンピングで落札し一次下請け企業が
 国税滞納で倒産、労務費未払い
 発注者である区の責任も問われる**

た初歩的な誤りを事前にチェックし、払い建設業法にのっとり、行なわれた結果、下請け倒産、偽装雇用、不払い、労働者への脅しなどもあったというものです。労務費未払いが正しく使われる方向へ改善していくことを求めます。

えっ!!こんなものあり!?

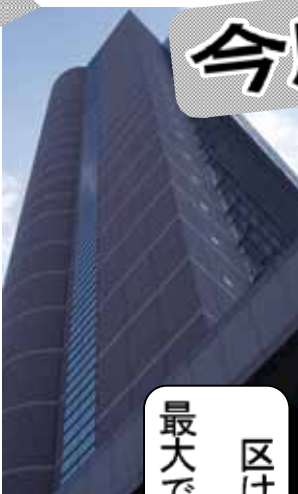
問題の天空劇場

今回は

一般区民が使うと最低でも1日十数万円の利用料なのに

プロのメジャーをめざす限られた人には
最大年六〇日タダで貸すなんて

区は「エンチャレ」という
意味不明な名称で
最大でも15組位だけを優遇



ハローワークのある建物「東京芸術センター」の天空劇場問題では、「区の施設だと思っていたら

単なる民間の貸しビルなんです。ビル所有者に36億円も税金投入や優遇なんてひどい！」と怒りが広がっています。更なる問題が浮上しました。

文教委員会での質疑で明らかになりました。

審査基準も不明瞭

区は「エンチャレ(エンターテイメントチャレンジャーの略)」「支援事業なる意味不明な事業を1月からスタートするとしています。

その内容は、区内外を問わずプロのメジャーをめざすクラシック系・和楽系・お笑い・バンド・歌手・ダンス・マイムなどの団体に、年間登録料5000円だけで一ヶ月最大5日(年60日)をめ

どに、ガラガラで7割近く空いている天空劇場をタダで「練習場所」として貸すというものです。

区は「空き室の有効活用」として効果的のように言いますが、二

地域学習センターやギヤラクシティ、住区センター利用団体は「受益者負担」だからと適用外



一般区民には

この制度は使わせない

区長の記者会見報道でこの事業を知った「足立区演劇連盟」は、さつそく区に「私たちもこの制度を使わせてほしい」と申し入れました。しかし区は「プロのメジャーをめざす」に該当しないからダメ」と拒否。演劇連盟は毎年区民参加型の「歓喜の宴」という合唱とのコラボのイベントをギヤラクシティで行っています。チケットは毎回完売しています。多くの区民が参加し、区民がセミプロから芸術を

学び発表する、区民との協働の行事や団体は適用外だと言っています。それだけでなく、「地域学習センターやギヤラクシティ、住区センター利用者は全てこの無料制度は使わせない、受益者負担が原則」といいます。こういった方々が天空劇場を使う場合は、一日利用で最低でも10万円、音響設備を使えば15万円にもなります。プロを目指すごく限られた人はタダ、区民は10〜15万円、こんなことではないのでしょうか。

三重に問題があります。

まず「最大で15組位」といいますが、その選定基準も全く定まっています。

不透明な中で、ごく限られた「区外の個人などプロを目指す15組」には、一日34万円の税金投入をしているのと同じことになってしま

「空きホールに一日34万円の税金投入」の批判をさらすため

来年度は一年間、ギヤラクシティがリニューアル工事で区民が使えなくなるのに「迷惑はかけていない」と居直る

突然こんなことをやり出す背景には「天空劇場の利用率が3割台、空気に34万円」の批判に対し「利用率を上げればよい」と発想したことにあります。

利用率あげるのなら区民に還元を来年度は、ギヤラクシティのリニューアル工事によりほぼ一年間西新井文化ホールも使えないため、「練習場所がなくなる」「毎年続いてきた発表もできなくなる」団体が続出します。「同じ利用率を上げるならなぜギヤラクシティを使えなくなつて迷惑をかける区民にたいし、無料で還元しないのか」と迫りました。

しかし自民・公明・民主の与党に支えられる区は「区民には迷惑をかけていない」と聞き直りました。

これが生涯学習部文化課の仕事だということだから、ひどいものです。一部の目立つところに優遇、地道に文化芸術に取り組む区民は受益者負担、逆立ちしているのではないのでしょうか。